

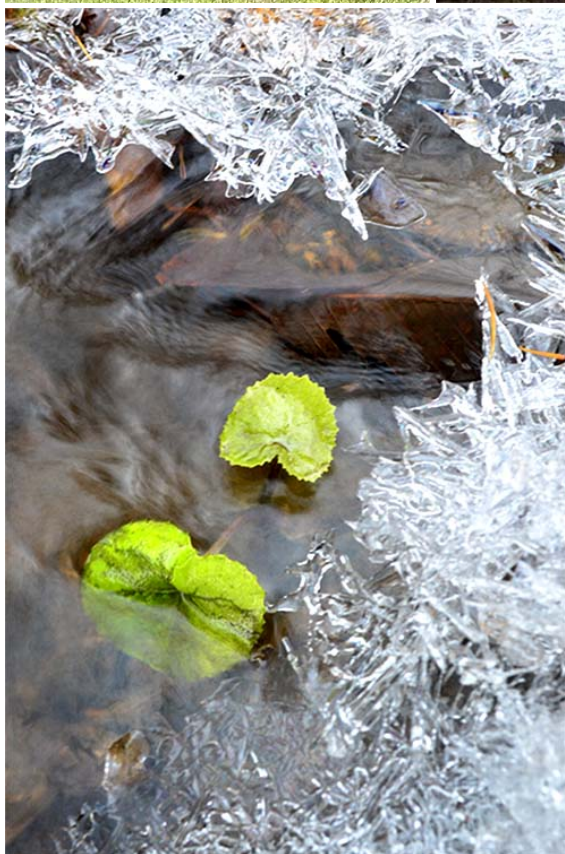
月刊 やちまなこ

2016.11.15 発行

No. 228

11 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

日が沈むにつれ、気温も一気に下がる湿原に月が昇る。薄氷が張り始めた湖のオオハクチョウの姿も今年は長く留まらないようで、代りにカワアイサが賑やかに群れていた。やがて足元が冷えてきた湖の奥からエゾシカの雄叫びが聞こえ、湖面に浮かぶ月がゆらゆらと揺れていた。

コッタロ川と湿原のほとりから

197 11 月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住・中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

“オリオンのまばたき近し神無月”。星座の輝きがひとときわうるわしい季節となりました。意外に暖かい晩秋が足踏みしているコッタロは、一気に訪れるかに思われた冬将軍に“待った！”がかかった様で、穏やかな霜月の幕開きです。異常気象が日常的となりつつある近年、11月に入っても温暖な日が多く、御覧のとおり、池の周囲や草地の緑は色あせもせず、水浴を楽しんだり、ダンスにいそしむ丹頂の♂♀の悠然たる姿にうっとりさせられております。一方、上空には、例年にない多さで冬鳥達の渡来が続いていて、中でも大ヒシクイの大群とのそうぐうに“Vの字に雲を切り裂く雁の群”を仰ぎ見ると共に、大白鳥の巨体が、まるで機体か何かの如く低空を飛ぶのには驚かされましたね。又、庭のツル池に目をやれば、コガモ 50 羽余りが、夕暮れ時を求めて舞降り、丹頂の♂♀を池の外へ追いやっているではありませんか。“鴨群れてツルベ落としの水面哉”。

ところで、9月から続いているエゾ鹿の発情もさること乍ら、この時季のみ音もなく現れて交尾を繰り返すのは、“冬めきて恋たけなわの狐哉”。美しい毛並みのキタキツネ達も来春にはベビーラッシュを迎えることでしょう。

さて、すっかり落葉した木立の回廊をはしごしているシマエナガの賑やかな群に惹きつけられて行くと、裸木を次から次へと移動しつつ、餌をついばみ、鈴の音色の歌声を響かせるのにききほれてしまいました。が、その何とも愛くるしい表情は可愛さ満点で、思わずパチリ！パチリ！パチリ！

それにつけても我家のエコ動物であるエゾシマリス♂♀は、例年なら 11 月 5 日迄には冬眠に入りますが、本日（10 日）になっても出沒しており、貯食に余念がなく、ひょっとしたら、これも暖冬の前ぶれかもしれませんよね。因みに今朝の気温－6℃、日中は＋5℃で、未だ氷点下二桁にはなっておりません。



湿原の住人たち その188

塘路湖エコミュージアムセンター周辺ではよく見かけるありふれた花で、湿原周辺の湿った草地に咲きます。花の盛りは7月頃ですが、花の季節が終わる晩秋まで見られます。写真は10月28日に塘路湖畔で開花していたものです。直径1.5cmほどの花は、先端に深く切れ込みが入っているため、何枚も花びらが付いているように見えますが、花びらは5枚です。

エゾオオヤマハコベ



季節の移ろいを感じながらバードウォッチング

10月30日シラルトロ湖、蝶の森周辺で音成邦仁氏（タンチョウコミュニティ）の解説で秋のバードウォッチングを開催しました。当日は、今シーズン初認のオオワシの登場に歓声があがりました。蝶の森では何度もツグミの群れと遭遇したものの、時期的にも餌探しに大忙しといった感じでじっとしてくれず、最後によりやく望遠鏡でも観察できました。季節移動をする鳥や周年見られる鳥たちの行動に季節の移ろいを感じながら17種確認しました。



神秘的音色に魅せられて・・ムックリ作りを開催



5日、自然ふれあい行事「ムックリを作ろう」を開催しました。はじめに講師の小岩佐和子さんからアイヌの民族楽器ムックリについて解説と演奏を聞いたあと、材料の竹材に彫刻刀を使って製作に取り掛かりました。振動する部分は音色に影響するので注意して削るようにアドバイスがあり、振動音を確認した作品に紐を通して完成しましたが、最初は音が出なく苦戦していたようで、最後に講師から「練習すれば音は必ず出ます」ということで、行事を終えました。

つぼっちの塘路湖周辺うろうろ日記 Vol.94「飯島一雄さんを偲ぶ」

飯島一雄さんの訃報を電話で知り、衝撃と共に飯島さんとの様々な思い出が改めて想起されました。飯島さんは標茶在住の昆虫研究者として知られ、釧路湿原をはじめとした道内幅広い地域の昆虫相を解明した一方で、標茶町文化財専門委員、標茶町郷土館運営審議員も30年以上に渡って活躍されました。

私自身も飯島さんには大変お世話になりました。亡くなる3カ月前にもお会いし、これまでの昆虫研究についてお話を聞かせてもらっていました。飯島さんは研究の中で結果として多くの昆虫の命を奪ってしまったことを話し、「自分の昆虫標本を多くの人々に見てもらい、そこから昆虫の楽しさや大切さを学んでもらうことが昆虫たちに対する贖罪だ」と語ってくれました。お話を聞き、飯島さんが郷土館に寄贈してくれた昆虫標本“飯島コレクション”を、末永く保存公開する気持ちを再確認しました。ご冥福をお祈りします。

坪岡 始（標茶町郷土館学芸員）



12月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

リースを作ろう

[日時] 12/3 (土) 13:00~15:00

[定員・参加料] 10名・500円

[持ち物] エプロン、枝切りばさみ、飾り付けしたいものがある方はお持ち下さい。

〔集合場所〕 塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム

[illegible]

初冬の湿原ハイク

[日時] 12/4 (日) 10:00~12:00

 申し込み問い合わせは 温根内ビジターセンターまで TEL 0154-65-2323

塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【植物】(10/21)センボンヤリ、ナギナタコウジュ、イヌタデ、キハダの実と若葉 (10/28)エゾオオヤマハコベ、セイヨウノコギリソウ、ニシキギの実、フッキソウ咲きかけの花と実、ネムロブシダマの実 (11/6)カラマツの黄葉 (11/10)ハンノキ・オオウバユリの実、セイヨウタンポポ

【鳥】(10/18)ユリカモメ (10/20)オオハクチョウ・カワアイサの群れ (10/21)オオバン、コガモ、ヒドリガモ、アオジ (10/27)ウ類、カンムリカイツブリ、カイツブリ、カルガモ、アオサギ、マガモ (10/29)ミコアイサ (10/30)ヒシクイ、オジロワシ、オオワシ(初認)、オオモズ(初認)、ヤマセミ、ツグミ、ヒヨドリ (11/1)ホオジロガモ (11/7)アカハラ、ハギマシコ (11/10)ノスリ、(シマ)エナガ

【その他】(10/17)ユキムシ (10/18)エゾシカ (10/21)アキアカネ (10/24)塘路湖けあらし (10/30)標茶町の最低気温氷点下8.3度を記録(10月の観測史上最低更新) (11/2)エゾシマリス、エゾタヌキ

■第 22 回タンチョウイラスト巡回展を開催中！鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ主催のタンチョウイラスト展を塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールームで開催しています。タンチョウが生息する地域に住む小中学生の作品 560 点からタンチョウの魅力と作品のすばらしさが伝わってきます。11/27(日)まで展示していますので、この機会にぜひご覧ください。

■今年は冬の到来が早く 11 月上旬から平地に雪が積りました。車で湿原を観光する方は、路面状況に応じた運転を心がけ、散策は防寒対策をしてお出かけください。また、国道にタイヤのブレーキ痕が増えました。朝晩はエゾシカの急な飛び出しにもご注意ください。

◆日出・日入時間 11/15(6:15, 15:59). 11/30(6:33, 15:49). 12/14(6:46, 15:48)



タンチョウウィラスト巡回展

27日まで開催

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこつと

☎088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間 10:00～16:00 (4月～10月は17:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日～1月3日 入館無料